



七色の虹



富士市立富士中央小学校
学校だより 第7号
令和5年10月29日 児童数 564人



立冬「一日、一步」



晩秋の空が青く、高く晴れ渡り、すがすがしい季節となりました。正門前に伸びる歩道の両脇には、今年もキンモクセイの鮮やかなオレンジ色の花が咲き、甘い香りを歩道いっぱいに漂わせています。

後期の始業式では、ノーベル物理学賞を受賞した湯川秀樹博士の「一日、生きることは、一步進むことでありたい。」という言葉子どもたちに紹介しました。先月号でもお伝えしましたように、どの子にも自分の目標に向かって一步ずつ前へ進んでほしいと願っています。子どもたちには、湯川秀樹博士の言葉の後に以下のように私の思いを伝えました。

「学校での学習活動や係・委員会活動などに、富士中央小学校の子どもたちは毎日頑張っており取り組んでいると思います。学校だけでなく、習い事やスポーツ、音楽や芸術などの活動にも一生懸命取り組んでいる子もいると思います。しかし、時にはうまくいかなくて、その歩みを少し止めることもあるでしょう。また、自分と人を比べることもあるでしょう。そんな時、不安になると思いますが、心配しないで大丈夫です。進み方や進む速さは一人一人違います。だから、みなさん一人一人が自分に合った速さで、毎日できることに焦らずじっくり取り組んでいけばよいのです。そして、続けていくことが大切です。今日から後期が始まります。皆さん、一步ずつ前へ進んでいきましょう。」

富士中央小学校は、11月も「一日、一步」ずつ前へ進んでまいります。



PIMA.jp - 26167540

PTA奉仕作業への御協力 ありがとうございます！

10月15日(日)は雨天のため、第2回PTA奉仕作業は校内で行われました。当日は、PTA会長様や環境整備部を中心としたPTA役員の皆様をはじめ、多くの保護者の方々や子どもたちに御参加いただき、誠にありがとうございました。また、環境整備部長様や役員の方々には、前日までの準備や計画、事前清掃に取り組んでいただき、ありがとうございました。

今回の奉仕作業は校内ということもあり、普段は子どもたちの手の届かない高い所やトイレなどを重点に清掃していただきました。また、外トイレも清掃していただきました。おかげさまで、ほこりや汚れも取れて校内が大変きれいになりました。お休みの中、御協力いただきました皆様に感謝申し上げます。

創立30周年を迎えて(6)「子どもたちが考える創立30周年企画」

10月19日(木)の昼休みに、図工室で児童代表委員会が開かれました。議題は、「30周年でできることは何だろう。」、提案理由は、「中央小は、今年30周年という大切な年なので、何かできることはないかと考えたから。」でした。図工室に入ると、前面に各クラスや委員会からの意見が、2つのホワイトボードにたくさん書かれていました。

小柱1「30周年と聞いてどんなことを思うだろう」には、「うれしい。」「長い。」

「早い、あっという間。」「おめでたい、すごい。」「お祝したい。」などの感想が寄せられていました。子どもたちが、記念の年であることを意識していることが分かりました。

小柱2「30周年でみんなでできることは？」では、「イベント」「祭りのような行事(文化祭)」「飾り付け」「歴史を振り返る」「劇」「タイムカプセル(未来の人へ)」「音楽祭」「校歌を歌う」「大会(運動)、みんなが楽しめる大会」「セレクト給食」「大掃除(細かい所、学区など)、掃除大会」「記念の作品を作る、作品展」「記念写真を撮る(航空写真、みんなで30をつくる。)」(「歴史を振り返りながら)スタンプラリー」「縦割りのような遊び」「新しいキャラクターを作る」「運動場でピクニック」「30周年おめでとうの紙を貼る」「全校でケイドロ、一斉ドッジボール」「校庭30周リレー」「クラス対抗アルミ缶集め」「花壇に30の形に花を植える」など、本当に多くの意見が出され、子どもたちの発想の豊かさにとっても驚きました。司会進行や記録など、会を運営・サポートする子どもたちもすばらしかったです。意見集約後の企画実施が、今からとても楽しみです。



